



青少年ひょうごNo. 83

特集

国際化を見据えた 青年リーダーの育成

編集・発行 2013年10月10日発行

公益財団法人兵庫県青少年本部

〒650-0011

神戸市中央区下山手通 4-16-3

兵庫県民会館 8階

TEL078-891-7410 FAX078-891-7418

HP <http://www.seishonen.or.jp/>



〈地方青少年本部〉

阪神南青少年本部 06-6481-4634 西播磨青少年本部 0791-58-2131

阪神北青少年本部 0797-83-3138 但馬青少年本部 0796-26-3648

東播磨青少年本部 079-421-9105 丹波青少年本部 0795-72-5168

北播磨青少年本部 0795-42-9352 淡路青少年本部 0799-26-2048

中播磨青少年本部 079-281-9198 神戸事務局 078-382-8249

CONTENTS

P 2 ★特集★
国際化を見据えた青年リーダーの育成
～兵庫県青年洋上大学海外養成塾～

P 4 ★本部事業報告★
・平成25年度少年の主張兵庫県大会
「中学生のメッセージ2013」
・ひょうご現代結婚事情フォーラム in 丹波
☆青少年活動の現場から④
・兵庫県緑の少年団連盟
・日本ボーイスカウト兵庫連盟

P 6 ★地方青少年本部だより★
・第34回未来をひらく少年会議
(東播磨青少年本部)
・親子ふれあい事業
親子ドラゴンボート体験教室
(西播磨青少年本部)
・T→friends と行く！
遊ぼう♪学ぼう♪ジオパークバスツアー
(但馬青少年本部)
・第13期淡路地域
こころ豊かな人づくり500人委員開講！
(淡路青少年本部)

P 8 ☆賛助会員募集
☆～information～

兵庫県青年洋上大学海外養成塾

本県の友好国等を訪問し、現地青年との交流をはじめとする多様な体験活動を通して、

- ① 社会の担い手として意識の高い国際性豊かな人材の育成
- ② 参加青年相互及び訪問国青年との絆やネットワークの形成
- ③ 事業の実践活動（社会貢献活動等）に対する参加意識の醸成

を図ることにより、**国際的視野を身につけ、地域・職域・団体の中核となって地域社会に貢献する青年リーダーを養成します。**平成25年度の海外養成塾では、ベトナムで海外研修を実施しました。

キャノンベトナム工場の視察

*** 国際的視野を養うとともに、企業進出の意義とCSR(社会貢献活動)の重要性を学ぶ。**



ハノイ国家大学外国語大学（日本語学科）との交流・交歓

*** ベトナム青年との絆やネットワークづくりと、明日を担う人材としての意識を醸成する。**

兵庫県学生が考えたテーマ（「ベトナムと日本の暮らし」、「日本の伝統文化」など）及び作成レポートに基づき意見交換を実施。ベトナムに対する理解が深まるとともに、学生同士の心のつながりや友情を深める契機となった。



【対面式で記念品の交換】

【ベトナム学生の優美な民族舞踊】



【兵庫県学生の力強い空手】

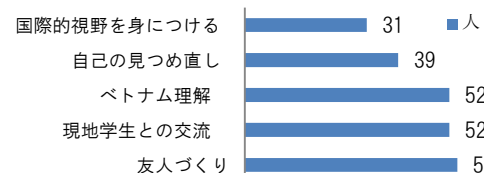


参加者の声

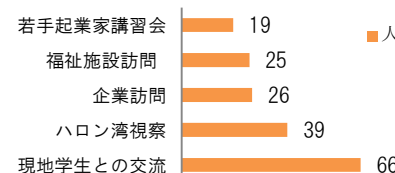
交流した現地の学生とは日本語での会話でしたが、相手に理解してもらえるよう求めるのではなく、私たちがわかりやすい日本語でかみ砕いて話すことがいかに大切かと実感しました。このことは、日常生活でも大切ですので、ずっと心がけていきたいと思っています。

参加者アンケートの結果（回答79人、98.8%）

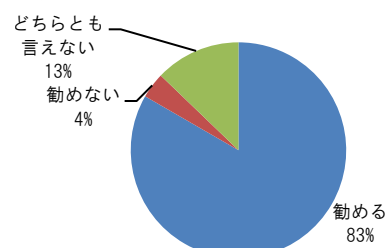
(1) 海外養成塾で達成できた目的（複数回答可）



(2) 満足できたプログラム（上位3項目まで回答）



(3) 海外養成塾への参加を勧めるかどうか



次代の兵庫の発展と成長を担うのは青少年です。近年、青少年を取り巻く環境が大きく変貌する中、青少年本部では、地域社会において国際的視野をもって地域をながめつつ、責任感・使命感をもって地域社会の発展に貢献する青少年の育成を進めています。

歴史・平和学習

*** 歴史を知り平和の重要性を再認識するとともに、国際的視野を養う。**



【クチ地下トンネル】

ベトナム戦争中、開放戦線によって作られた250Kmに及ぶ地下トンネルの一部を視察。



【戦争証跡博物館】

枯れ葉剤の影響のある子どもの写真や、実際に使用された戦車や大砲など、ベトナム戦争の歴史を学習。

9月23日TBSテレビ「ニュース23」の「激流アジア」コーナーで海外養成塾が取り上げられました。

若手起業家（安倉宏明氏）講演会の聴講

*** グローバルな生き方に触れ、国際的視野を養う。**

ベトナムで人材紹介等の事業を営む安倉宏明氏の講演を聴講し、国際的な視野を養った。講演後は同氏を囲み長時間にわたる意見交換を行い、学生自身の将来や生き方を考える大きな契機となった。



児童教育訓練センターとの交流

*** 福祉の意義を理解し、社会貢献活動（ボランティア）に対する参加意欲を醸成する。**

ストリートチルドレン等を養育する施設である児童教育訓練センターを訪問。施設の子どもたちによる歌や踊りの出し物を鑑賞したあと、兵庫県の学生が準備を重ねてきた「けん玉」、「バルーンアート」、「折り紙」、「紙風船」などを出展し、200人を超える子どもたちとの交流を図り、社会貢献活動に対する参加意欲を醸成した。

【民族衣装を着た子どもたちのパフォーマンス】



参加者の声

ベトナムの歴史や文化の体験、現地の大学生との交流や多くの人との出会いを通して、国際理解や異文化交流の重要性を感じました。この経験を活かし、今後は国際的視野を広げ、社会に貢献できるよう努力していきたいと思っています。

* このほかにも、下記のような青年リーダー育成事業を実施しています。

兵庫・沖縄青年リーダー交流事業（友愛キャンプ）

兵庫・沖縄友愛運動の一環として、郷土や文化の交流を通して友愛の絆を深め、ふるさとへの誇りや愛着を育むとともに、郷土の発展に寄与する青年リーダーを養成。

〈夏期〉 8/22～25 ・沖縄県
 〈冬期〉 2/6～9 ・兵庫県

青少年活動コア・リーダー養成研修

青少年活動・育成活動に携わる指導者を対象として、青少年活動の基本的な理念や方向性を明らかにし、課題に立ち向かう資質を有する青年リーダーを養成。

〈第1回〉 10/5～6 ・兵庫県自治研修所
 〈第2回〉 11/16～17 ・同上

■本部事業報告■

平成25年度 少年の主張兵庫県大会「中学生のメッセージ2013」

9月28日(土)、兵庫県民会館で開催した「少年の主張兵庫県大会」は、県内の中学生たちが日常生活や団体活動等の体験を通し、考えていること、感じていることを広く県民に訴えるとともに、青少年育成の指針である「ひょうご青少年憲章」の普及・実践活動について考え、自ら社会の形成者としての役割と責任を自覚し、明日のひょうごを切り拓いていく担い手として成長することを期待するものです。

35回目を迎えた今年の大会には、各地域で選抜された10人の中学生がそれぞれの主張を力強く発表しました。

最優秀賞に選ばれた赤穂市立有年中学校の松本優香さんは、全国大会の出場候補者として推薦されました。今後、独立行政法人国立青少年教育振興機構において事前審査(書類選考)が行われ、中部・近畿ブロック(12府県)では上位3名が「少年の主張全国大会」に出場できることになっています。

★最優秀賞

「十五歳の決意」

赤穂市立有年中学校3年

松本 優香

★優秀賞

「そこにも優しさがあった」

白陵中学校3年

八木 咲良

「母のケガから考えたこと」

姫路市立飾磨西中学校2年

黒田 果穂

★奨励賞

「頭(こうべ)を上げて」

神戸国際中学校3年

山田 真悠子

「支えから学ぶこと」

西宮市立浜脇中学校2年

仮谷 柚希乃

「家族7人があたりまえだった(この時まで)」

小林聖心女子学院中学校1年

榮 万緒

「十五歳の迷跡」

多可町立加美中学校3年

大西 未紗

「心をつなぐ」

養父市立八鹿青溪中学校3年

山本 珠愛

「本当の『楽しさ』とは」

丹波市立市島中学校2年

君塚 みのり

「部長としての立場」

南あわじ市・洲本市組合立広田中学校3年

泉 奈津穂



◇標語入賞作品の表彰

この大会の中で、「大人が変われば 子どもも変わる」標語入賞者の発表がありました。青少年の育成指針である「ひょうご青少年憲章」をテーマに、大人、子どもそれぞれから、意見や提案、夢や希望を標語の形で広く募集しました。

小学生の部572点、中・高校生の部2,169点、一般の部136点、合計2,877点の応募があり、また、学校の部として40校から応募があり、審査の結果、入賞作品が決定し、表彰されました。

	賞	入賞作品・受賞者	
小学生の部	最優秀賞	いやなこと 人にやらない やらせない 安田 悠馬 (尼崎市立園田小学校6年)	
	優秀賞	それはだめ 自分で判断 できる子に 谷 恒輝 (神戸市立本山第一小学校6年)	
	奨励賞	わすれない ごめんなさいと ありがとう 松本 寛暉 (神戸市立なぎさ小学校4年)	
中高校生の部	最優秀賞	見えています 大人の姿勢 そのマナー 米田 倫加 (加古川市立中部中学校3年)	
	優秀賞	あいさつは 心がつながる 合い言葉 高寄 亜梨沙 (加古川市立中部中学校3年)	
	奨励賞	「やってみよう」 踏み出す一歩 無駄じゃない 岡本 彩奈 (県立神戸商業高等学校3年)	
一般の部	最優秀賞	親の目が 届かぬわが子に 地域の子 村岡 孝司 (丹波市在住)	
	優秀賞	見守ろう 大人みんなが サポーター 西口 雄一 (加古川市在住)	
	奨励賞	よその子も 同じ目線で さとす愛 金地 民衛 (西宮市在住)	
学校賞		尼崎市立園田小学校 神戸市立太山寺中学校 明石市立衣川中学校 加古川市立中部中学校 滝川中学校 神戸市立桜の宮中学校 兵庫県立松陽高等学校	



ひょうご現代結婚事情フォーラム in 丹波

9月23日（祝・月）、若者の未婚化・晩婚化を考えるフォーラムを篠山市の丹南健康福祉センターで開催しました。

シャルマン・カルテットのみなさんの弦楽四重奏で、会場の雰囲気が盛りあがったオープニング・ステージのあと、「結婚難の時代から、夫婦で共に仕事も家事も育児も担う時代へ」と題して、甲南大学マネジメント創造学部教授の 前田正子氏が基調講演を行いました。

講演では、第2次ベビーブームの世代が就職する時期と就職氷河期が重なり、男女ともに正規の職に就けないまま40歳代になりつつあることや、現在では働く人の3人に1人は非正規労働者であることなどをデータをもとに説明。男性も家事を担当し、女性も働いて、互いに協力して家庭を作っていくことを男女ともに考えていけばパートナー探しの幅が広がることなど、現状を数字で捉える、わかりやすく興味深いお話でした。

続いて、丹波地域こうのとりの大使やはばタン会員で成婚された方を交えたパネルディスカッションを実施。参加者は現代の若者を取り巻く状況を再確認し、会場を後にしました。

出会いサポートセンターでは、その地域のこうのとりの大使のみなさんと一緒に縁結び交流会を実施しているほか、お見合い会員であるはばタン会員を随時募集しています。詳しくは、お近くの出会いサポートセンターへお問い合わせ下さい。



～青少年活動の現場から④～

「兵庫県緑の少年団連盟」・「日本ボーイスカウト兵庫連盟」の巻

兵庫県青少年団体連絡協議会（通称：青団連）は、県内で活動する22の青少年団体が、各団体の主体性を尊重しながら相互に連携し、青少年活動を通じて青少年の健全育成を図るとともに、青少年が心身共に健康に育つ環境づくりに取り組むことを使命に活動しています。加盟団体の特色ある取り組みをシリーズでご紹介しています。

兵庫県緑の少年団連盟

兵庫県緑の少年団連盟は、自然を愛し、人を愛し、自ら社会を愛するところ豊かな人間に育って行くことを目的とした団体で、平成25年5月現在、県下に173団体・7,685人の団員がいます。

緑の募金活動や森林観察、森林の保育など、緑化活動を中心とした事業を行っています。県連名では毎年秋に、緑の少年団のつどいや活動発表会を開催し、県下各地の少年団の交流を図っています。

問合せ先：〒650-8567 神戸市中央区下山手通5丁目10-1
兵庫県庁豊かな森づくり課森づくり支援係内
TEL 078(362)3144 FAX 078(362)3954
E-mail yutakanamorizukuri@pref.hyogo.lg.jp
HP http://web.pref.hyogo.lg.jp/af15/af15_000000006.html



日本ボーイスカウト兵庫連盟

日本ボーイスカウト兵庫連盟は、「ちかい」と「おきて」の実践を基盤として班制教育と進歩制度と野外活動をビーバー、カブ、ボーイ、ベンチャー、ローバーの5つの年代に合わせて成人指導者の協力のもと一貫したプログラムを展開しています。プログラムは青少年がその自発活動により、自らの健康を築き、社会に奉仕できる能力と人生に役立つ技能を体得して、誠実、勇気、自信及び国際愛と人道主義を把握し、実践できるようにキャンプやハイキング等の活動を各地で行っています。

問合せ先：〒650-0011 神戸市中央区下山手通4丁目16-3
兵庫県民会館8階
TEL 078(333)1781 FAX 078(333)1783
E-mail info@bs-hyogo.gn.jp
HP <http://www.bs-hyogo.gn.jp>



●地方青少年本部だより●

東播磨青少年本部 第34回未来をひらく少年会議

8月26日(月)、兵庫県いなみ野学園で東播磨・北播磨の中高生が交流を深める「第34回未来をひらく少年会議」を開催しました。

集まった中高生143人が、NPO法人生涯学習サポート兵庫の菅野将志氏の指導のもと、午前中は「東日本大震災の今を考える」をテーマに、ワカモノチカラプロジェクトの大学生から被災地の状況やボランティア活動についての報告を聞き、震災から10年後について考えるワークショップに参加しました。



午後は、いなみ野学園生、500人委員やOB会の方々の協力のもと、班ごとに将来の夢と実現のプロセスを模造紙に記入し、お互いの夢について、思いを共有したり評価し合いながら交流を深めました。

全体会では、各班代表の生徒が自分の夢について発表し、「志望大学合格のために勉強しなければならない。いつ勉強するのでしょうか。」と問いかけると、「今でしょ」と呼応し、会場は終始拍手と笑顔に溢れた楽しい一日となりました。

西播磨青少年本部 「親子ふれあい事業 親子ドラゴンボート体験教室」 ～夢を持ち、力を合わせるすばらしさを伝えたい～

8月10日(土)、相生湾で焼け付くような真夏の日射しの中、親子140名が参加して「親子ドラゴンボート体験教室」を開催しました。

参加者は「ドラゴンボート」と「ペーロン船」に10チームに分かれて乗り込み、チーム対抗でのタイムレースや会場遊覧を楽しみました。



初めて船に乗る不安そうな子どもたちも、10月に中国・天津で開かれる東アジア競技会のドラゴンボート競技に、日本代表として出場される「磯風漕友会」

(男子)、「SUPER DOLPHIN」(女子)の手ほどきを受け、親子で力をあわせて櫂を動かし、船から上がる時は、笑顔いっぱいでした。

閉会式では、ドラゴンボートの上位者の表彰式や指導いただいた両チームへの応援メッセージの贈呈などを行い、忘れがたい夏の思い出となりました。



自然災害から「住まい」「家財」を守る フェニックス共済



フェニックスサポーター
はばタン

区分	負担金	被害認定	給付金
住宅所有者	年額 5,000 円	半壊以上	最高 600 万円
マンション共用部分	年額 2,400 円	半壊以上	最高 300 万円
家財	年額 1,500 円	半壊以上又は床上浸水	最高 50 万円

複数年一括支払加入(3・5・10年)による割引や住宅と家財の同時加入による割引があります。詳しくはお問い合わせください。

(公財)兵庫県住宅再建共済基金
TEL.078-362-9400(平日 9:00~17:00)

フェニックス共済 |

検索

「ひょうごユースケアネット・ほっとらいん相談」

専門スタッフが、ひきこもりの専門相談や、個々の相談に応じた専門機関の紹介の電話相談を行っています。

実施日時：月・水・金・土(週4回)

10:00~12:00 13:00~16:00

(祝日および年末年始を除く)

専用ダイヤル：

078-977-7555 (相談料無料)

●地方青少年本部だより●

但馬青少年本部 T→friends と行く！ 遊ぼう♪学ぼう♪ジオパークバスツアー

7月21日（日）、但馬青少年交流部のT→friends（ティーフレンズ）が、但馬管内の小学4～6年生を対象にした「T→friends と行く！遊ぼう♪学ぼう♪ジオパークバスツアー」を開催しました。予定を上回る応募があり、抽選で選ばれた33名の小学生が



T→friends
や高校生ボラ
ンティアの
16名と一緒
に1日を過ご
しました。



豊岡市にある「玄武洞公園」では、ガイドさんの案内で公園を巡り、玄武岩の形成過程や玄武洞の歴史を学びました。目の前にそびえ立つ柱状節理のダイナミックな自然の芸術作品に圧倒され、歓声を上げていました。

その後京都府京丹後市の「丹後あじわいの郷」では、風鈴づくりや芝すべり、動物とのふれあい体験を楽しみました。最後に訪れた琴引浜では、こすり合わせた砂がキュッキュッと鳴く、鳴き砂体験に夢中になりました。

終わりの会での「1日ありがとう。楽しかったよ！」という子どもたちの声は、T→friends や高校生ボランティアにとって、何ものにも代え難い喜びとなりました。とても暑い1日でしたが、心に残るジオパークバスツアーでした。



淡路青少年本部 第13期淡路地域こころ豊かな人づくり 500人委員育成事業開講！

淡路地域の青少年育成活動や地域づくり活動の担い手を養成する「第13期淡路地域こころ豊かな人づくり500人委員」育成事業が始まりました。

7月27日（土）、洲本市文化体育館にて、事業を実施する淡路青少年本部と国立淡路青少年交流の家及びNPO 法人生涯学習サポート兵庫が、県内初の



試みとして（プログラムづくりに係る）3者連携協定を締結し、その後開講式を開催しました。

開講式では、「淡路島を大切にしたい！」「淡路島を元気にしたい！」といった発言が多く聞かれるなど、活気にあふれるとともに、淡路青少年本部長から500人委員決定通知を受領し、決意を新たにしました。

総勢88名の500人委員は、今後2年間、さまざまなテーマのセミナーを受講するとともに、自主的にグループ活動を行い、青少年育成活動等を実践的に身につけます。



ひょうご青少年憲章

- 1 自分を大切にし、自らを律し、行いに責任をもって生きていこう
- 2 ふれあいを深め、正義感をもち、社会を担う一人として生きていこう
- 3 人の痛みや喜びを感じあえる心をもって生きていこう
- 4 多様な人々の存在を受け入れ、ともに支えあって生きていこう
- 5 自然を愛し、生命を尊び、みえない世界にも襟を正して生きていこう
- 6 先人に学び、明日に夢をえがき、勇気をもって未来を拓いていこう

1対1の個別お見合い紹介をします！

はばタン会員募集中！！ ひょうご出会いサポートセンター



神戸出会いサポートセンター
TEL (078) 381-6820
阪神南出会いサポートセンター
TEL (06) 6481-7370
阪神北出会いサポートセンター
TEL (0797) 26-7351
東播磨出会いサポートセンター
TEL (078) 920-9337
北播磨出会いサポートセンター
TEL (0795) 38-8022

中播磨出会いサポートセンター
TEL (079) 240-7005
西播磨出会いサポートセンター
TEL (0791) 58-1311
但馬出会いサポートセンター
TEL (079) 662-7701
丹波出会いサポートセンター
TEL (0795) 78-9130
淡路出会いサポートセンター
TEL (0799) 24-2717

賛助会員を募集しています

賛助会費は税制面での優遇措置の対象になります。
ご寄付いただいた方の名簿をホームページに掲載しています。

次代を担う青少年を育成するために、ぜひ皆さまのご協力をお寄せください。

[会費] 賛助会員(個人) 年額 1 口 2,000 円以上

賛助会員(法人) 年額 1 口 10,000 円以上

詳細は、兵庫県青少年本部、又は各地方青少年本部までお問い合わせください。

賛助会員カードを呈示すると、以下の施設で入館料・入園料割引等の特典を受けることができます。

- ◇施設 本人および同伴1名(神戸市立博物館は本人のみ)に団体割引料金適用
- ◇兵庫県民会館レストラン・喫茶「ピッコロ」・理容室「今井」 本人のみに10%割引
- ◇県立兎和野高原野外教育センター レンタル料割引

兵庫県立美術館

《特別展》
神戸ビエンナーレ 2013
「横尾忠則 感応する風景」展
10月1日(火)～12月1日(日)
TEL 078-262-0901
(神戸市中央区)

兵庫県立 人と自然の博物館

ひとはくかわらばん
2013展
10月5日(土)～
平成26年1月5日(日)
TEL 079-559-2001
(三田市)

兵庫県立考古博物館

《特別展》
動乱! 播磨の中世
赤松円心から黒田官兵衛まで
10月5日(土)～12月1日(日)
TEL 079-437-5589
(播磨町)

兵庫県立歴史博物館

《特別展》
名城ふたたび
ようこそ姫路城
10月12日(土)～12月1日(日)
TEL 079-288-9011
(姫路市)

兵庫陶芸美術館

《特別展》
陶芸の魅力×
アートのドキドキ
9月7日(土)～11月24日(日)
TEL 079-597-3961
(篠山市)

阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター

ドキュメンタリー3D映像上映
「東日本大震災
津波の傷跡」
～平成26年3月末
TEL 078-262-5050
(神戸市中央区)

神戸市立博物館

《特別展》
プーシキン美術館展
フランス絵画 300年
9月28日(土)～12月8日(日)
TEL 078-391-0035
(神戸市中央区)

兵庫県庁2号館 B1 食堂「のじぎく」

割引(例)
コーヒー 300円→270円
ケーキセット 600円→540円
(但し 11:00～14:00 除)
TEL 078-362-2509
(神戸市中央区)

～ information ～

■県立山の学校

・腰塚勇人氏講演会のご案内

西はりまライオンズクラブとの共催で、「命の授業」と題して
9月21日を皮切りに全3回開催します。

第2回目 11月17日 県立山の学校
第3回目 2月18日 宍粟市立山崎南中学校

参加対象 山の学校生徒、修了生、保護者、一般県民

入場料 無料(事前の申込みはいりません)

その他 11月17日の第2回講演時には、ベンチ即売会・模擬店・
ライフル射撃体験等ができる「山楽祭 in 五十波」(学校
祭)も同時開催します。

・学校説明会と体験入学会の参加者募集

○学校説明会

平成26年度入学生募集を行うにあたり、県下9地区12
会場において学校説明会を開催します。

○体験入学会

平成25年12月22日(日) 10:00～12:00・山の学校

※1 いずれも対象は山の学校や森林体験に関心のある、平成26年4月1
日現在、20歳までの県内在住の男子及び保護者・家族・教職員

※2 参加を希望される方は、必ず事前に電話でお問い合わせください。

問い合わせ先:0790-62-8088(県立山の学校)

■県立神出学園

・1日交流体験コースの参加者募集

対象 15歳以上35歳以下の不登校・
ひきこもり等の状態にある男女

人数 20名程度

参加費 600円

内容 動物とのふれあい、スポーツ、学
習、ミュージック、フリープログラ
ムなど

開催日時 毎月1～3回 金曜日実施
(10:30～15:00)

問い合わせ先:078-965-1122
(県立神出学園 教務課)

◆◆編集後記◆◆

・海外養成塾ベトナムのおみやげに、ハスの
お茶をいただきました。ハスの花が国花にな
っていて、愛でるだけでなく茎は茹でてサラ
ダにしたり、種子は生食するようです。お茶
は、中国茶とはまた違ったなんともベトナム
らしい味わいで、ハスの雄しべで香り付けし
ているらしく、ほんのり甘い香り。行ったこ
とはないけれど、しばしばベトナムに思いをは
せる午後でした。(K)

